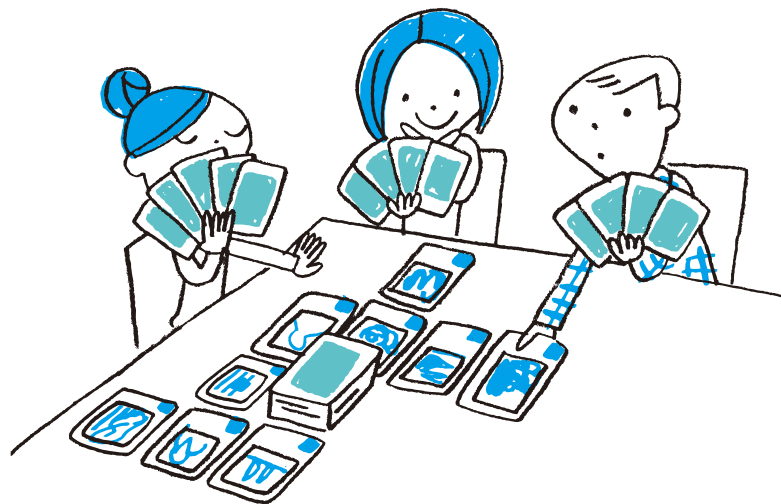


最初は、図版を一覧できる「名探偵ゲーム」や「カレンダーをつくろう」から始めることをお勧めします。でも、アートカードの使い方は無限大。遊び方を考えること自体も学びのひとつです。



## 「にたものつながりゲーム」

似たところを見つけてつなげていく

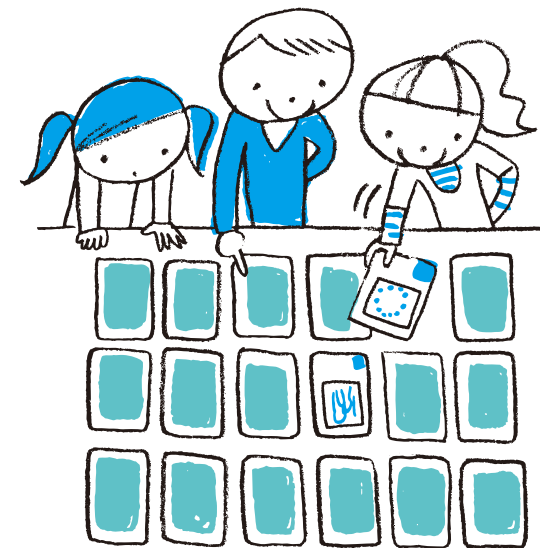
【プレイ人数】3人～6人

### 【遊び方】

1. 手持ちカード5枚を配り、残りは場の中央に伏せて山にする。一番上のカードを1枚めくって場札を作る。
2. 順番を決めたら、場札と「つながり」のあるカードを手持ちから見つけて、場札のとなりに置き、つながりを説明する。みんながつながりを認めればOK。上下左右どこにも置けなければ、山から1枚カードを引く。
3. 早く手持ちカードが無くなれば勝ち。

### 【身につく力】

色や形、描かれているものの特徴をとらえ分類する力がつきます。



## 「ペアをみつけろゲーム」

2枚のカードの共通点を見つける

【プレイ人数】3人～6人

### 【遊び方】

1. 全てのカードを裏にして並べる。
2. 順番にカードを2枚めくり、表に向ける。
3. 2枚のカードの共通点を見つけ、その理由をみんなに説明する。みんなが認めれば、そのカードを手に入れることができる。説明できないときは2枚のカードを裏返し、次の人に順番が移る。
4. 一番多くのカードを手に入れた人の勝ち。

### 【身につく力】

観察力と、共通の特徴を言葉にして伝える力がつきます。



## 「マイ美術館」

### 4枚のカードで展覧会をつくる

【プレイ人数】2人～6人

#### 【遊び方】

1. 全てのカードを表にして並べる。
2. 親が展覧会のテーマを発表する。(夏、花、虫など)
3. 順番に1枚ずつテーマに合ったカードを取っていく。テーマに合ったカードが見つからなくても理由をつけて関連づけていく。集めるカードは3枚でもよい。
4. 4枚集まったら展覧会の名前を考え、選んだ理由など発表し合う。

#### 【身につく力】

テーマに沿って想像し、物語を構成する力がつきます。



## 「カレンダーをつくろう」

### 好きなカードでカレンダーをつくる

【プレイ人数】2人～6人

#### 【遊び方】

1. 全てのカードを表にして並べる。
2. 季節や行事などを考え、2ヶ月分のカレンダー(1・2月、3・4月…)にぴったりな作品を6枚選ぶ。作品を選んだ理由を言えるようにしておく。3ヶ月分のカレンダー(春夏秋冬)にして4枚で行ってもよい。
3. 選んだカードについて発表し合う。

#### 【身につく力】

季節感や自然の豊かさなどのイメージを広げる力がつきます。



## 「しりとりゲーム」

カードに描かれていることを言葉に表し、しりとりをする

【プレイ人数】2人～6人

【遊び方】

1. カードを5枚ずつ配る。残りは伏せて山にする。
2. 順番を決めて、最初の人手持ちのカードから1枚選び、表にして場の真ん中に置く。描かれていることから言葉を考え、説明する。例えば「太陽」が描かれていれば「たいよう」という。
3. 次の人は、前の人言った言葉のしりとりになる言葉を手持ちのカードから見つけ、そのカードを出して説明する。みんなが認めればOK。拍手する。出すカードがない場合は山からカードを1枚引く。
4. 早く手持ちカードが無くなれば勝ち。

【身につく力】

注意深く観察する力がつきます。



## 「名探偵ゲーム」

どのカードを選んだのか？

描かれていることについて質問しながらそのカードを当てる

【プレイ人数】3人～

【遊び方】

1. 全てのカード（または20枚程度のカード）を表にして並べる。
2. 親を決める。親は任意のカードを1枚選ぶ。他の人には教えない。
3. 他のプレイヤーは順番に、カードについて「YES・NO」で答えられる質問をする。「そこには、動物が描かれていますか？」「季節は夏ですか？」など。
4. 全員質問したところで、どの絵であるのかを考え、全員で一斉に指さす。
5. 当てられたら、親は次のプレイヤーにかわる。

【身につく力】

言葉による表現力が豊かになり、批評力が身につきます。